

第7回 修復的愛着療法セミナー 「ケースセミナー 日本における臨床実践から学ぶ」

日時：2016年 5月 13日（金）～15日（日）
会場：明治大学グローバルフロント1F グローバルホール

共催：修復的愛着療法研究会 子どもの養育とアタッチメント・トラウマ研究会 明治大学心理臨床センター

お問い合わせ：修復的愛着療法研究会 atti.japan.info@gmail.com

ホームページ：<http://www.attijapan.info/>

講師紹介

➤ テリー・M・リヴィー心理学博士
エバークリーンサイコセラピーセンター
アタッチメント・トリートメント・アソシエイト・トレーニング・
インスティテュート(ATTI)所長

ブリッジポート大学心理学で学士課程終了後、フロリダ州マイアミ大学で臨床心理学専攻。1969年に修士号、1972年に博士号取得。1980年から4年間南フロリダ州ノヴァ大学心理学の助教授として家族組織理論とセラピーの援助技術を教える。

現在は、愛着療法を専門とするAttachment Treatment & Training Institute(ATTI)を故オランダ氏と開設し、アタッチメント障害児と実親・里親・養親との愛着の絆の修復と「癒しの親業」の教育を2週間の集中治療で行っている。

世界各国から治療を望む家族が子どもを連れてATTIを訪れ、1985年から現在までに1,000余の家族と子どもの治療を行う。2010年来日した際には日本人夫婦への治療的面接を行った。またATTIでも日本人親子への愛着の修復に成果をあげている。

著書に「愛着・トラウマとその癒し」「愛着障害ハンドブック」「癒しの親たち：里親と養親家族で安定した愛着を築くために」などがある。



➤ ヘネシー澄子先生

クロスロード・フォー・
ソーシャルワーク社所長
東京福祉大学名誉教授
社会福祉士博士
臨床ソーシャルワーカー

東京外国語大学仏語科
卒業後、ニューヨークのフォーダ

ム大学で社会福祉学修士号を、コロラド州デンバー大学で博士号を取得。ニューヨーク大学社会福祉大学院助教授を経て、昭和49年コロラド州に移住し、インドシナ難民のためのアジア太平洋人精神保健センターを設立し、所長として活躍する。平成12年引退し、新制の東京福祉大学の実習担当主任教授として日本に赴任。平成16年3月に大学を退職して帰米。コロラド州オーロラ市に在住して、アメリカの最新援助技術を日本に紹介するクロスロード・フォー・ソーシャルワーク社を夫と共に立ち上げ、日本の児童福祉に携わる人達の研修を日・米両国で行っている。

著書に反応性愛着障害を書いた「子を受けない母・母を拒否する子」と子どもとトラウマを書いた「気になる子・理解できる・ケアできる」がある。

➤ 加藤尚子先生

明治大学文学部准教授、子どもの養育とアタッチ・
トラウマ研究会代表

セミナー開催にむけて

幼児期に虐待などの不適切な対応を受けた子どもたちや、発達段階に沿わない不適切な環境で育てられた子どもたちのアタッチメント(愛着)は、非常に歪められた形で形成されていきます。こうした子どもたちは、多様な行動上の問題を起こし、家族や集団で生活を営んでいく上で大きな苦しみを抱えることになります。アタッチメント(愛着)に問題を抱える子どもたちに対する治療・支援は日本ではまだ十分確立されておらず、大きな問題の一つです。

修復的愛着療法とは、アタッチメント(愛着)理論とトラウマ治療、そして家族療法を柱とした様々な手法を統合した心理療法です。2週間の集中治療で、アタッチメント対象となる養育者への支援と心理教育、治療的介入から始め、子ども本人への治療的介入を行います。

アタッチメント(愛着)障害の子どもたちに対する取り組みで日本よりはるかに先を行くアメリカでは、Attachment Treatment & Training Institute(ATTI)で行われている修復的愛着療法が大きな成果を上げています。豊富な臨床経験を持つ、リヴィー博士と故オランダ心理士のユニークで愛情あふれるアイデアが盛り込まれた素晴らしい治療方法です。

セミナーの内容

リヴィー博士を招いて7回目となる今回は、「修復的愛着療法の理論的背景及び基礎理論」と「臨床的介入ポイント」を学びながら、ある日本人家族のケース事例(予定)を取り上げることで、日本における臨床実践について学びを深めます。

アメリカでの最先端の治療・支援方法および理論を日本に紹介し続けているヘネシー博士にはわかりやすい日本語訳に解説を加え、皆さまの質疑にお答えいただく予定です。

アタッチメント(愛着)障害という言葉をご存知ですか？

- ・ 特定の人と親密な人間関係が結べない
- ・ 他人との適度な距離がたもてない
- ・ 因果関係がわからないため、常識が通用しない
- ・ 年齢相応の思考能力の不足
- ・ 問題行動(万引き、パニック、非行など)
- ・ 有名な悪人や犯罪に憧れる
- ・ 平気で嘘をつき、罪悪感に乏しい
- ・ 自分の間違いや問題を人のせいにして責める
- ・ 集中力に乏しく、気分が変わりやすい
- ・ 絶望を感じていて、未来に夢が抱けない
- ・ 衝動的でキレやすい
- ・ 動物や自分より弱いものをいじめる
- ・ 新しいことやリスクが多いことには挑戦できない
- ・ 触られるのを極端に嫌がる・・・など

親のしつけに問題がある、大したことではない、時が解決する・・・という言葉でかたづけられがちですが、これらは、適切な時期に親と子の間に「愛着の絆」が形成されなかったことによる人間関係の障害であること(アタッチメント障害)がわかってきました。

子どもに関わる多くの方々がアタッチメント障害について学び、その予防と治療に役立てて頂きたいと切に願っています。本セミナーを通じて、一緒に学びを深めませんか。



昨年明治大学で実施したセミナーの様子

ご注意ください！愛着療法と修復的愛着療法(ATTI)は全く別物

愛着障害の治療を目的とし、1960～70年代に主に、クライン博士とエバグリーン市の愛着センターの関係者によって「愛着療法」が作られ、全米に広がりました。

ところが、子どもが再誕生(Rebirthing: 毛布にくるまれ、大人何人かの重さに抗って生まれ直す)を伴う集中的愛着療法中に窒息死したり(2000年)、11人の養子の多くがホールディング・セラピーを受け、家庭では檻で寝かされる愛着療法ペアレンティングを受けていたケースが摘発されました(2005年)。

これらの事件を受けての「愛着療法」反対運動もおこっていますが、強制的で死亡事故を起こした「愛着療法」とATTIにおける修復的愛着療法は、両機関とも同じエヴァグリーン市にあり名前も似ていますが、全く別のものです。

リヴィー博士、オランダ心理士は強制と服従を用いる実践には明確に反対しています。「愛着障害をもつ子どもたちが非常に挑発的な行動を示すのは、深い恐れと恥への防衛的な反応であり、強制的な介入を用いる根拠は一切ない。情動を扱うためには、条件付けられた情動反応を活性化することが必要だが、大人はサポートの源であるという感覚を促進し、個人の対処能力を越えない方法でのみ行う」という姿勢をはっきりと示しています。

第7回 修復的愛着療法セミナー 「ケースセミナー 日本における臨床実践から学ぶ」

共催：修復的愛着療法研究会 子どもの養育とアタッチメント・トラウマ研究会 明治大学心理臨床センター

お問い合わせ：修復的愛着療法研究会 atti.japan.info@gmail.com

ホームページ：<http://www.attijapan.info/>

■ セミナー主旨

本セミナーでは、「修復的愛着療法の理論的背景及び基礎理論」と「臨床の介入ポイント」を学びながら、ある日本人家族のケース事例（予定）を取り上げることで、日本における臨床実践について学びを深めます。

予定スケジュール ※状況によりタイムスケジュールが変わる可能性があります。ご了承ください。

日時	内容	講師
5/13(金) 10～17時	・修復的愛着療法—基礎理論について	明治大学 加藤尚子
	・ATTI治療プログラム—ケース事例を通じて	テリー・M・リヴィー ヘネシー澄子
5/14(土) 9～18時	・ケースセミナー 日本における臨床実践から学ぶ① (DVDによる事例ケースを題材に)	テリー・M・リヴィー ヘネシー澄子
5/15(日) 9～16時	・ケースセミナー 日本における臨床実践から学ぶ② ・まとめ	テリー・M・リヴィー ヘネシー澄子
16:30～ 18時予定	懇親会予定(グローバルラウンジ グローバルフロント17F)	

※臨床心理士参加が全体の1/3を超えた場合、臨床心理士資格認定更新のためのポイント申請を日本臨床心理士資格認定協会にいたします。(昨年はポイント申請が認められました)

会場へのアクセス



明治大学グローバルフロント1F グローバルホール
※1Fにサンマルクカフェが入居しています(目印)



グローバルフロント1Fの
サンマルクカフェ(目印)

<アクセス>

※JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分
※東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
※都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

参加申込み書

必要事項をご記入の上、E-mail または
FAXでお申込み下さい。



E-mail: atti.japan.info@gmail.com
FAX: 03-6261-2738

セミナー参加に際し、「守秘保持の誓約書」に署名をして頂くことを予めご了解ください

【お願い】

申込み欄が足りない場合は、お手数ですが本申込書をコピーの上、ご利用ください

■ 振込先(事前入金のお願い) お申込み後、事務局からの返信メールをご確認の上、下記口座に所定の料金をお振込ください

ゆうちょ銀行 12440-22803071
口座名 シュウフクテキアイチャクリョウホウケンキュウカイ

※他銀行からのお振込みは、以下となります
【店名】二四八 【店番】248 普通預金 【口座番号】2280307

↓ご希望のコースにチェックしてください

□5/13(初日)参加費 10,000円(税込) □5/13～15(3日間)参加費 35,000円(税込) □懇親会費 5,000円(5/15 16:30～)

(フリガナ) ご氏名	ご連絡先	E-mail	(注)メールが届かないアドレス間違いを防止するため、大きく、わかりやすいハッキリ記入にご協力をお願いします
		TEL()	—
法人名 (所属機関)	所属・ 役職名	FAX()	—
所在地	〒		